

事業コード	02010309	政策コード	02	政策名	国内外に打って出る攻めの農林水産戦略
事業名	あきた総合家畜市場整備事業	施策コード	01	施策名	"オール秋田"で取り組むブランド農業の拡大
部局名	農林水産部	指標コード	03	施策目標(指標)名	県産牛の新たなブランド確立と全国メジャー化の推進
課室名	畜産振興課	班名	調整・畜政・経済班	(tel) 1806	担当課長名 土田正広
					担当者名 篠田浩

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成27年度 ~ 平成27年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 本県の肉用牛流通及び畜産振興の拠点であるあきた総合家畜市場の機能強化を図り、ブランド確立及び全国メジャー化を目指す「秋田牛」ブランドの生産基盤を強化する。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 あきた総合家畜市場駐車場の舗装化によって、県内外の来場者の積雪期間の利便性の向上を図る。これにより来場者の確保による市場取引の活性化がなされ、もって「秋田牛」ブランドの生産基盤が強化される。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H26年10月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に 家畜市場開催時の購買者及び生産者等との意見交換)
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 あきた総合家畜市場株式会社
 事業の対象者・団体 あきた総合家畜市場株式会社、肉用牛農家
 達成のための手段
 あきた総合家畜市場株式会社が行う来場者の利便性向上に向けた駐車場舗装等の施設整備等に対する補助(補助率1/2)

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 あきた総合家畜市場は県内唯一の総合家畜市場であることから、「秋田牛」ブランドの生産基盤強化に向けた市場取引の活性化のためには、同市場の機能強化以外に手段はない。

駐車場が砂利舗装のために除雪が不十分であり、積雪期間における駐車場の利便性がたいへん悪いので改善してもらいたい。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	全体(最終)計画
01	あきた総合家畜市場整備事業	県内外からの市場来場者の利便性向上のため、あきた総合家畜市場が行う駐車場舗装等の施設整備を支援する。	1,500						
財源内訳			1,500						
国庫補助金									
県債									
その他			1,500						
一般財源			0						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 利便性の向上により、買参人を中心とする来場者の増加が図られ、もって市場取引の活性化が期待される。

指標	指標名	あきた総合家畜市場への年間来場者数							指標の種類
	指標式	あきた総合家畜市場への年間来場者数の実績							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a		2,900	3,000	3,120	3,360	3,360	3,480	
	実績b	2,700	2,800	データ等の出典					
	東北 全国	あきた総合家畜市場株式会社からの聞き取り							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 05月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 県農政の重点課題である複合型生産構造への転換のためには、更なる畜産振興が不可欠であり、畜産振興の最重点課題である「秋田牛」ブランドの生産基盤強化のため、本事業の必要性は高い。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 市場利用者から強く要望されている積雪期間における市場駐車場の利便性向上のためには本事業による機能強化が不可欠である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

あきた総合家畜市場は県が主導して統合を進めた県内唯一の総合家畜市場であり、県農政の重点課題である複合型生産構造への転換や「秋田牛」ブランドの確立及び全国メジャー化の実現のための取組であることから、県が関与する必要性は高い。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業	その他
------	-----